

札幌商工会議所 部会ニュース

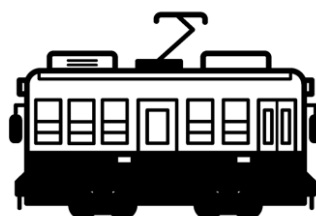


04

2025.4.15

発行：札幌商工会議所

*The Sapporo Chamber of
Commerce and Industry*



Contents

3月開催の事業

- 情報部会×生活関連商業部会
- 観光部会
- 金融・サービス部会
- 健康・文化部会

- 店舗PRの新常識が学べる！「小売店のための生成AI活用セミナー」開催報告
- 「2024年度札幌観光大使視察交流会」開催報告
- 「さっぽろ外食産業研究会 福岡視察会」開催報告
- 「第1回土業×異業種交流会」開催報告
- 「eスポーツキャラバン」開催報告
- 「第4回 健康経営セミナー」開催報告

部会ニュース

令和7年4月号

(3月開催の事業のお知らせ)

本紙は各部会・分科会の活動や
今後の予定をお知らせするものです。

発行：札幌商工会議所

部会名	所管部署名		連絡先
建設部会 住宅・不動産部会 設備工事部会 ものづくり工業部会	産業部	地域振興・ものづくり課	011-231-1373
生活関連商業部会 金融・サービス部会 健康・文化部会		生活・サービス産業課	011-231-1374
情報部会		IT推進室	011-231-1077
運輸・自動車部会		人材確保・活用課	011-231-1772
観光部会	国際・観光部	国際交流・観光課	011-231-1330
食品・貿易部会		食産業・貿易課	011-231-1332

情報部会×生活関連商業部会

「店舗PRの新常識が学べる！ 「小売店のための生成AI活用セミナー」開催報告

3月4日（火）、情報部会と生活関連商業部会は、「店舗PRの新常識が学べる！小売店のための生成AI活用セミナー」を開催した。講師には(株)dott 代表取締役 浅井 渉 氏を招き、生成AIの基礎知識からChat GPTの使い方や最新の生成AI活用事例、そして小売店のPRに、AIがどのように応用できるのかについて学んだ。

当日は26社33名が参加し、セミナー終了後は参加者同士の交流会と個別相談会を行った。



<セミナーの様子>



< (株)dott 浅井様 >

観光部会

「2024 年度札幌観光大使視察交流会」開催報告

3月18日(火)、講師に街歩き研究家の 和田 哲 様 をお招きし、札幌観光大使の視察交流会を狸小路内の新たな観光スポット「AOAO SAPPORO」にて行った。

狸小路は都市型水族館「AOAO SAPPORO」の他、個性的な飲食店が多く集まるエリアであり、夜も数多くのインバウンドで賑わうなど夜間観光の促進に大きな役割を果たしている。当日は、狸小路の歴史や、人気スポットについてお話しいただいた。

参加者からは、「新たな狸小路の魅力に気づくことが出来た」という声や、「懇親会での交流を通じて新たな人脈やビジネスチャンスが生まれた」といった参加者も多く、満足度の高い交流会となった。



＜講演会の様子＞



＜懇親会の様子＞

観光部会

「さっぽろ外食産業研究会 福岡視察会」開催報告

3月12日(水)～13日(木)、外食産業を営む事業者のコミュニティであるさっぽろ外食産業研究会では「食」をテーマに先進的な取り組みを行う地域の視察として、多様かつ独自性のある食文化を持つ「福岡」を訪問し、現地企業(団体)との交流および視察を行った。

現地では、サッポロビール西日本本部から「福岡の飲食業概況について」、また福岡の飲食業事業者の団体IC∞会(イコー会)から「成り立ちや取組について」のレクチャーを受けた。

繁盛店視察として「天神ビッグバン」と呼ばれる再開発が進む天神地区を中心に視察。朝食のみの営業でインバウンドに人気の、予約が取れないお店などを視察し、同じように再開発が進む札幌の飲食事業者にとって大きな学びに繋がった。



＜懇親会後の集合写真＞



＜IC∞会でのレクチャーの様子＞

金融・サービス部会

「第1回士業×異業種交流会」開催報告

3月3日（月）、金融・サービス部会は、士業と異業種の交流を深めていただくために、士業を中心とした異業種交流会をセミナー。交流会の二部構成で開催した。

第一部は、全業種に共通する2つのテーマについてセミナーを開催した。1つ目は、ステラ綜合法律事務所 弁護士 佐藤 光太 氏より「ネット上の誹謗中傷への対応」と題し、誹謗中傷の種類や対応等についてお話いただいた。2つ目は、北海道 SATO 社会保険労務士法人 酒井 翼 氏より「令和7年度の助成金改正について」と題し、助成金等の申請方法や補助金との違い等を中心にお話しいただいた。第二部は、軽飲食を交えながら名刺交換会を開催した。

当日は行政書士、社会保険労務士等の士業が27名、保険業や飲食業等の異業種が11名の合計38名が参加した。



＜第一部：セミナー＞



＜第二部：交流会＞

健康・文化部会

「eスポーツキャラバン」開催報告

健康・文化部会は、3月17日と19日の二日間、障害福祉施設へのeスポーツ導入実証事業として、「eスポーツキャラバン」を実施した。令和4年度から高齢者施設で実施してきた「レクリエーションのDX化」を、今年度は障害福祉施設で実施することで、高齢者施設と同様の成果を出せるか検証した。

また、今年度は学生に運営の見学・補助をしてもらうことで、業界の関係人口増加を図るとともに、同業者等の見学も募り、eスポーツの社会的意義の啓蒙とビジネスチャンスの提案を同時に行った。

一日目は就労移行支援事業所、二日目は就労継続支援B型事業所で実施し、両日合わせて、施設利用者13名、施設職員8名、学生2名、見学企業5名の、計28名が参加した。施設利用者からはイベント開催を喜ぶ声だけでなく、継続実施してほしい等、前向きな意見をいただいた。施設職員からは、機器の導入により業務負担軽減や生産性向上に繋がるとのご意見をいただいた。



<レクリエーション一日目>



<レクリエーション二日目>



<当部会事業で生まれた「健康ゲーム指導士」も参加>



<同業他社同士の交流の場にもなった>

健康・文化部会

「第4回 健康経営セミナー」開催報告

健康・文化部会は、企業の健康経営支援として、健康経営セミナーを開催した。ゲストスピーカーの(株)NoLaBo（ノラボ）代表取締役 野呂 昇平 氏は、現役の医師・健康経営アドバイザーとして活躍しており、ご自身が産業医として実践している健康経営を、健康経営導入先の企業の取り組みを挙げながらご紹介いただいた。また、(株)NoLaBo は弊所「令和6年度 北の起業家表彰 奨励賞」受賞企業でもある。

第一部は、同氏から「健康寿命の延伸全般」と「会社を守るために必要な法令順守と健康経営」についてお話いただいた。第二部は健康経営優良法人としての取り組み事例を紹介し、健康経営実践企業2社と健康経営エキスパートアドバイザーでもある社会保険労務士 出町 勇人 氏、産業保健師 平塚 真帆 氏の4名にご登壇いただき、パネルディスカッションを開催した。

当日は21名が参加し、医師、社労士、産業保健師、経営者によるセッションに興味深く耳を傾けていた。



<第一部：セミナー>



<第二部：パネルディスカッション>